

書名	神武天皇伝承の古代史			著者名	平林章仁／著		
出版社	志学社	ISBN	978-4-909868-11-4	本体価格	¥3,000	発売	2023/11/1
内容	初代天皇たる神武天皇(カムヤマツイワレヒコ)は、天孫・ニギノミコトの曾孫である。歴史的事実／非実にかかわらず、その名が皇統譜に記載され、記紀に東遷伝承が採録されていることは事実である。このことは、神武伝承が歴史的に形成されたことを意味する。それでは、なぜヤマト王権の始祖王たる神武は日向で生まれ、母系を隼人とし、そしてまた東遷にあたって多くの事蹟が伝えられるのであろうか。本書ではこれらの課題に対し、記紀をはじめとする文献、そして富雄丸山古墳出土蛇行鉄剣などの考古的成果を駆使し、神武伝承が歴史的に必然性をもって成立したことを						

書名	古墳と壁画の考古学			著者名	著・文・その他:泉武、長谷川透		
出版社	法藏館	ISBN	978-4-8318-7769-7	本体価格	¥2,000	発売	2023/11/24
内容	高松塚古墳壁画発見から50年、キトラ古墳壁画発見から40年。 日本で二例しか確認されていない「壁画古墳」キトラ・高松塚古墳は、どのような技術でつくられたのか？ これまでの発掘調査を踏まえ、制作の舞台裏に迫る！ 古墳ファン、考古学ファン、古代史ファン必読の書！！						

書名	万の言の葉の歌			著者名	下村尚敬／著		
出版社	鳥影社	ISBN	978-4-86782-031-5	本体価格	¥2,000	発売	2023/11/25
内容	万葉集の世界に想いを馳せ、歌ってみよう！ 天皇から庶民までの和歌を集めた日本人の心のふるさと「万葉集」。その和歌に楽曲をつけること早10年、著者のライフワークと言える全36曲の楽譜を掲載しました。現代に甦る、古代の息吹を味わう試み。独唱、合唱、合奏等のコンサートにもすぐ使えます。						

書名	発見！ ほとけさまのかたち			著者名	著・文・その他:奈良国立博物館		
出版社	河出書房新社	ISBN	978-4-309-22903-4	本体価格	¥1,650	発売	2023/11/22
内容	「ほとけさま」のポーズやファッションに注目し、その不思議に迫る！ 平易で親しみやすい文章と豊富な図版で、子どもから大人まで楽しめる。奈良国立博物館による仏像入門の決定版！						

書名	倭国の政治体制と対外関係			著者名	森 公章／著		
出版社	吉川弘文館	ISBN	978-4-642-04677-0	本体価格	¥9,500	発売	2023/11/28
内容	乙巳(いつし)の変の中心人物とされる中大兄皇子と中臣鎌足。その後、律令国家を形成していく倭王権の中で彼らはいかなる動向を見せ、そこには何が読み取れるのか。記紀や荷札木簡、刀剣銘などの史料を網羅的に整理し、諸制度の運用状況や地方支配の実態を分析。さらに東アジア諸国の動乱と対外関係に迫り、倭国の政治史・外交史研究の到達点を提示する。						

書名	人物叢書 藤原広嗣			著者名	北 啓太／著		
出版社	吉川弘文館	ISBN	978-4-642-05315-0	本体価格	¥2,200	発売	2023/11/29
内容	藤原四子の一人、式家宇合の嫡男に生まれ、官僚として出世街道を歩むが、突如大宰府に左遷。その後、僧玄昉と吉備真備の排除を訴える上表文を提出し、九州全土の兵を集め蜂起するもあえなく敗死する。両軍それぞれ一万人以上、奈良時代最大規模と言える内乱の首謀者となった生涯に迫り、死後怨霊として伝承となった姿にも説き及ぶ本格的な伝記。						

書名	鎌倉時代仏師列伝			著者名	著・文・その他:山本 勉、武笠 朗		
出版社	吉川弘文館	ISBN	978-4-642-08436-9	本体価格	¥2,500	発売	2023/11/29
内容	院政期以後、仏師たちは院派・円派・奈良仏師の三派に分かれていたが、鎌倉時代には奈良仏師から慶派も生まれ、京都・奈良・鎌倉や地方の寺々で腕を振るった。運慶・快慶・院尊・湛慶・隆円・善円ら39名の仏師をとりあげ、事績と作風の特徴を図版とともに解説する。優れた造仏の技量に加え、時代と社会のなかでの個性豊かな生き様に迫る。						

書名	ブッダのお弟子さん につぽん哀楽遊行			著者名	笹倉 明／著		
出版社	佼成出版社	ISBN	978-4-333-02911-2	本体価格	¥1,800	発売	2023/11/29
内容	本書は、著者がタイ国、チェンマイの古寺にて出家して1年が経つ頃と、それからさらに1年半余りが経過した頃、寺の副住職と連れ立って日本を旅した記録であるとともに、生き直しへの決意表明でもある。古希の老僧(著者)と35歳のマザコン副住職のけなげで可笑しい珍道中は、文化や国民性、道徳観の違いが分かる「仏教文化エッセイ」といえよう。満員電車で戸惑い、街では女性を避けて歩き、東京タワーや新幹線にビックリ。東大寺や増上寺でご本尊に五体投地…タイ仏教の経文や戒律が日本仏教とは大きく違うことが読み通すことでよく分かる。						